

2019年 東北大学後期日程試験【数学】問題分析

1 今年(2019)の傾向

総評・講評(大問毎に)

文系

1 a で場合分け。完答したい。

2 (1) 判別式から傾きを求める。完答したい。

(2) 放物線と接線で囲まれた面積の常識(?)を知っていた。

3 (1) $|\vec{PQ}|^2 = \vec{PQ} \cdot \vec{PQ}$ を利用。完答したい。

(2) 気づきにくい。

4 (1) 条件(iii)の意味を具体的に考へて、場合分けをして考へるが、ポイント

(2) $|a_k|$ と $|b_k|$ をすべて入れかえても、条件(i)~(iii)が成り立つことに気づければ
解決

(3) 具体的に、すべての場合で考へなければい。

総評 例年並の難易度。

1, 2(1), 3(1)を完答したい。これだけで45%くらいの得点率ではおかしいかと15%と部分点として得た。4はやや難。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

経済学部	60 %
------	------

3 来年受験する生徒へのアドバイス

標準的な問題集をしっかりと解いておこう。そのためには、基本事項を覚えておくことが大事。確率、ベクトル、微積分は歩み出さないと、特に多くの時間をかけて練習しておこう。